

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市会議員団

2008.1.23号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail:info@jcp-yokohama.com
<http://www.jcp-yokohama.com/>

新市庁舎建設のための用地 168億円 一北仲通南地区を補正予算・新年度予算で購入一

約五十億円かけて耐震工事中の現市庁舎



横浜市は現在、「新市庁舎整備構想素案」に対する市民意見の募集を行っています(12月26日～1月25日)。素案では、「現在の市庁舎は、業務量の増加に伴い、周辺に複数の民間ビルを賃借していることによる多くの経費の発生、分散化による市民サービスの低下、施設や設備の老朽化など色々な問題を抱えている」ために、新しい市庁舎が必要だとしています。

市は新市庁舎整備のために、北仲通の土地を、市庁舎整備基金全額の取り崩し(135億円)と08年度予算33億円で購入する予定です。

この土地は、約1.3ha、都市再生機構(UR都

市機構)の所有地で、地下鉄みなとみらい線馬車道駅前の高層ビル「横浜アイランドタワー」、本町栄線を挟んで、森ビルが中心となって進めている北仲通再開発事業用地とも接しています。

ここに新市庁舎を建設することが決まっているわけではなく、現在の市庁舎周辺に新しくて建てる場合の仮庁舎の用地にもなると、市は説明しています。

中田市長は、2年前の選挙で市庁舎整備計画を公約としておらず、それどころか1期目は、市庁舎整備基金積み立てを見合わせていました。ところが、横浜開港150周年記念事業の一環として急浮上しました。

1,000億円規模ともいわれる新庁舎建設事業は、財政負担、時期を含め、50年100年先の横浜市のことを見て、様々な方面から、市民参加で検討すべきです。ほんの1か月程度のアンケートで市民意見を反映したなどとはとんでもありません。こうしたことを抜きに、建設を当然視し、横浜開港150周年記念事業にあわせて、土地を取得することは、問題ではないでしょうか。



横浜市の「新市庁舎整備構想素案」では、港町(現庁舎)地区、北仲通地区(右写真)、高島地区(みなとみらい21地区)の3つを候補地としてあげています。



今回取得する北仲通南地区的土地（白い部分、現在は中古車屋等）。左が都市整備機構のビル。上方に現市庁舎、横浜スタジアム。